シ R 「機動戦士ガンダム F91」

ジェガン (F91)

機体名	ジェガン	画像
型式番号	RGM-89J	
英語名	JEGAN	
所属	地球連邦軍	
パイロット		
装甲材質	チタン合金セラミック複合材	
装備	バルカン砲×13 連グレネードラック×24 連ロケットランチャー×2 ビームサーベル×2 ビームライフル×1	
作品名	機動戦士ガンダム F91	
参考書籍	G ジェネレーション FGUNDAM WAR 革新の波濤 地球連邦軍 U-117	

内容

第2次ネオジオン抗争で活躍した量産型機 RGM-89 ジェガンを改修した機体。サナリィが開発したFシリーズが量産されるまでは連邦軍の主力MSとして活躍を続けた。が、Fシリーズの登場と共に完全に旧型のレッテルを貼られてしまった。

Bクラブ70号

RGM-86が期待性能を発揮できなかったため、その分期待を受けて出現した主力MSである。さてその結果であるが、RGM-89は、見事に期待にこたえたといえるだろう。その総合性能は、ネオ・ジオンの主力MS AMS-119 ギラ・ドーガとほぼ互角で、機動力ではギラ・ドーガが勝り、火力ではジェガンが勝っていたとされる。また量産性にも優れ、設計者に先見の明があったため、派生型も多数生まれた。高機動型のM型、近接攻撃用のR型、多目的用のJ型などなど、多数の派生型を生み出すと同時に、最も粋な額生産され続けているMSでもある。実戦配備の始まったのが0090であるから、今年0122まで、なんと20年以上に渡って主力であり続けたのだ。

(現在ではRGM-109、F71と徐々に交替しつつある)

これはネオ・ジオン崩壊により、大規模な紛争の可能性が消滅したためであり、また新型機を開発する余裕もなかったためである。

しかし現役年数は長くとも平時であり、各派生型併せても、総生産数は3000機にも満たない。しかし1年戦争時に比べ、1機当りの製造コストと手間は大幅に増大しているため、一概に比較することはできないが。

なおこの機体で特筆すべきは、サナリィがF90のデータ収集用に、独自に改装した特殊型、ST1であろう。

これはあくまでデータ収集用、テスト管制機だが、サナリィ技術陣の大改装により、一流の戦闘用MSとしても使えるだけの能力を持っている。

ただしカスタムメイドのため、その製造コストはノーマルタイプのジェガン8機分に相当すると

いう。

備考

スペック

項目	内容
頭頂高	19.0m
全高	
本体重量	22.8t
全備重量	49.7t
ジェネレーター出力	2430kw
スラスタ-総推進力	55870 kg × 114290 kg × 4
アポジモーター数	20
センサー有効半径	